

vol.47 「うつろう」ききどころ

シーズンオープニングコンサートは、フレッシュな奏者とベテラン奏者が揃います。室内楽の殿堂カザルスホールの過去の室内楽公演に参加した三宅さんは、「音楽を前にしては年齢は関係ない」と言われたことを印象深く覚えていると言います。Music from PaToNaにおいても音楽を前に丁々発止のやりとりが期待されます。モーツァルトの協奏交響曲は、原曲は、ヴァイオリンとヴィオラの二人のソリストとオーケストラが協奏しますが、今回は大変に完成度の高い編曲で、弦楽七重奏版をお届けします。ヴァイオリン、ヴィオラだけでなく、チェロにも大きな見せ場があります。そして、今年没後30年となる武満徹のオーボエ四重奏曲「アントゥル=タン」。Entre-Temps。直訳すると、「時」の「間」。シュル・レアリスムの詩人、トリストラン・ツアラの詩の一篇から誕生した作品です。オーボエ入りの室内楽としても、世界的に重要なレパートリーのひとつとなったこの作品を武満記念イヤーに再考します。そして、R.シュトラウスの「メタモルフォーゼン」。1945年。2つの世界大戦の終わりの年、ドイツの敗戦を見つめるかのように、R.シュトラウスが書いた「変容」を意味するこの作品。瓦礫と化した街並みや敗戦とともに価値観ごとく崩壊していく祖国への惜別の想いがこめられたきわめて美しい作品です。原曲では23人の奏者によって演奏されますが、今回は弦楽七重奏版で。世界が日々「うつろう」昨今。この時の間を、ホールの響きとともに描きます。

より音楽を身近に

Music from PaToNa発信の
地域密着型事業

HUMMING BIRD
MUSIC FROM PATONA
for humming life. Presents

vol.47 「うつろう」オープンゼミナール

R.シュトラウスの魅力をR.スケガワはかく語りき!

受講無料・事前申込制



講師 助川 龍

Music from PaToNa プランナー
仙台フィルハーモニー管弦楽団 コントラバスソロ首席

どこかで調べればわかる曲目解説ではなく、実際に舞台を創るメンバーが自分たちの言葉で語る想いや解釈。より深く、より楽しく理解して鑑賞するための事前予習の機会です。

開催日 2026年4月11日(土)
11:00~12:00(10:30受付開始)

会場 宮城野区中央市民センター
3階 第3会議室

WEB申込
フォーム



2026年3月6日(金)11:00申込受付開始 WEB申込フォーム、電話、Eメール先着順

https://www.hm-sendai.jp/miyagino_event/

Music from PaToNa News

Music from PaToNaの情報をいち早く皆様に

Facebook公式ページとInstagram公式アカウントにて、Music from PaToNaのリハーサル風景、公演情報、本番舞台裏の様子などを写真とともに紹介いたします。皆様ぜひご覧ください。



<https://www.instagram.com/musicfrompatona/>



<https://www.facebook.com/musicfrompatona/>



【お申込み・お問合せ】

TEL 022-257-1213 Web <https://www.hm-sendai.jp/sisetu/miyagino/>

宮城野区文化センター

e-mail | チケットお申込み | miyabun-ticket@hm-sendai.jp | お問合せ | miyabun-hall@hm-sendai.jp